

# 災害に強い道路になるよう安全最優先で工事を進めております。



## ① 小屋浦トンネル北側



## ③ 吉浦地区



## ② 福浦川橋



## ④ 吉浦大川橋



## 土石流から高速道路を守る

～安全と地域をつなぐ取り組み～

平成30年7月、西日本を襲った記録的豪雨は、各地に甚大な被害をもたらしました。小屋浦地区や水尻地区では、山腹から流れ出した土砂が住宅地を飲み込み、高速道路だけでなく、鉄道や一般道までもが寸断されました。広島呉道路は崩落し、約3か月間通行止めとなり、地域の交通網は麻痺、生活と物流に深刻な影響を与えました。

この災害は、私たちNEXCO西日本にとって大きな教訓です。高速道路は地域のライフラインであり、災害時にその機能を失えば、復旧や救援活動にも支障をきたします。そこで、現在進めている4車線化事業の中で、土石流の危険性が高い箇所を事前に把握し、徹底した対策を講じています。

まず、高速道路近くの危険な渓流を分析し、危険度の高い渓流に関しては、土砂流出を防ぐ構造を整えています。工事中の対策として、万が一の土砂流出に備えて、仮設防護柵により道路への影響を最小化する仕組みを導入しています。こうした防災対策により、災害発生のリスクを最小限に抑え、地域の安全と高速道路の機能を確実に守ります。

これからも、皆様が安心して高速道路をご利用いただけるよう、努めてまいります。

